

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：「COVID-19 例における casirivimab/imdevimab 投与後の有害事象を予測する因子」

研究期間： 西暦 2021 年 9 月 1 日～西暦 2021 年 12 月 31 日

対象材料：

病理材料（対象臓器名： ）

生検材料（対象臓器名 ）

血液材料 遊離細胞

その他（カルテ資料 ）

上記材料の採取期間： 西暦 2021 年 8 月～西暦 2021 年 12 月

意義：

承認薬ロナプリーブは海外治験により緊急に入院投薬において承認されたが、医療逼迫により外来への早期移行、又は外来投与が議論される。

また海外治験は外来データであり、入院の詳細な有害事象が求められる。

目的：

1. 投与後 24 時間の発熱の因子の探求
2. 投与後 24 時間の低酸素化の因子探求

方法：

当院例において、背景データを多変量解析し、独立に有意な因子を探る。また発生率もみる。

個人情報の取り扱い：

匿名化される。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 外科・呼吸器外科 副院長 吉田 順一

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838